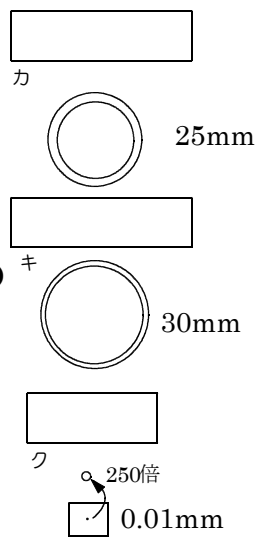
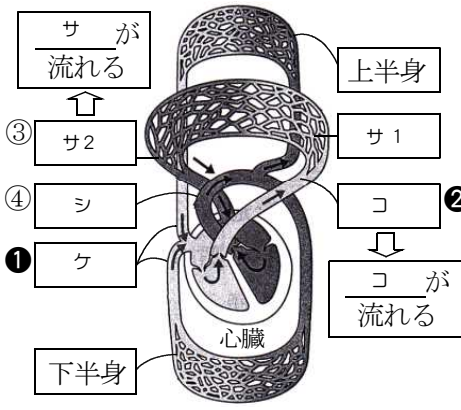
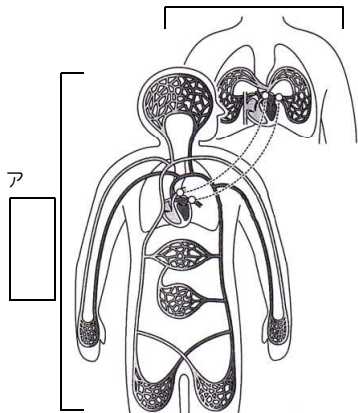


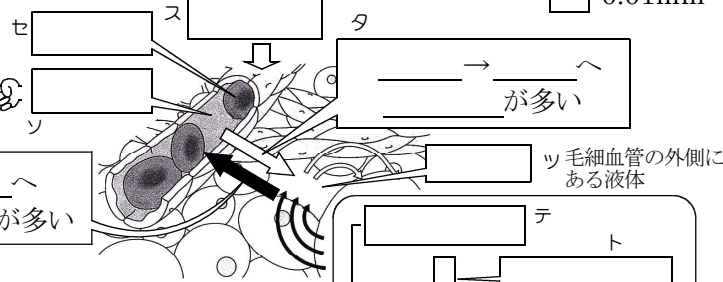
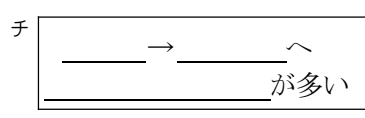
# 心臓のしくみとはたらき②

ア  …心臓から出て全身をめぐる心臓にもどる。身体の細胞に酸素や養分などが血液によって運ばれる。そして、細胞から二酸化炭素などを受け取った血液( イ )が心臓にもどってくる。

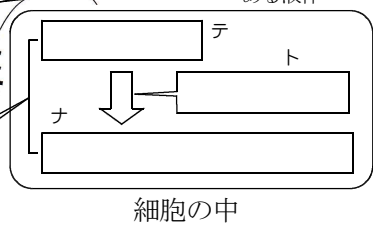
ウ  …心臓から出て肺をめぐる心臓にもどる。<sup>エ</sup>           をへて酸素が少なくなった血液が肺に送りこまれ、酸素をたっぷりとふくんだ血液( オ )  
 ユ  となって心臓にもどってくる。



血しょうの成分の約99%は水分である。



ニ 細胞が酸素を取りこみ二酸化炭素を排出することを            という。養分が酸素と結びついて分解され、エネルギーが取り出される。



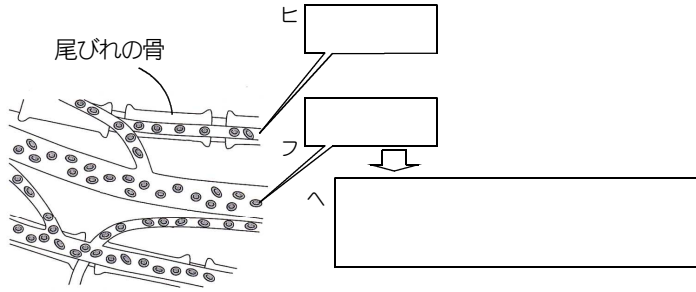
組織液の一部は            にも入る。            に入った組織液は            とよばれ血液と同じく                       がある。

## 血液の流れるようすを観察する

①メダカを水といっしょにファスナーつきのビニル袋に入れる



②尾びれを観察する



・血液の流れは、                       と、                       の2つがある。

・血管は、尾びれの先端に向かうほど                       している。